

東北自治総合研修センター利用者の皆様へのお願い

令和7年12月
宮城県公務研修所
東北自治研修所
宮城県市町村職員研修所

現在、宮城県全域でツキノワグマの出没が激増しており、目撲件数は観測史上最多となっているとともに、死亡事故も含めて、人身被害が発生しており、非常に危険な状況です。

当研修センターも山林に隣接しており、いつクマが出没してもおかしくありません。施設を利用する皆様の安全を確保するため、下記の対策を実施・強化していますので、ご留意願います。

記

1 外出時の注意（特に早朝・夜間）

- ・早朝・夜間の不要不急の外出は、なるべく控えてください。
- ・コンビニエンスストア等の周辺施設へ出かける際は、出来る限り単独行動を避け、複数人で行動してください。

2 施設敷地内でクマを目撲した場合

- ・絶対に近づかない！
- ・慌てず、クマを刺激しないよう静かにその場を離れ、建物内など安全な場所へ避難してください。
- ・速やかに事務室職員または防災センターへ通報してください。

3 研修センターの安全対策

- ・クマの侵入を防ぐため、当分の間、正面玄関の自動ドアを閉鎖しますので、正面玄関脇の非常出入口（8:00～17:30）を利用してください。
また、夜間通用口の自動ドアについては、手動に切り替えて運用しております。
- ・施設周辺の定期的な巡回
- ・クマ撃退スプレー・爆竹の配備

宮城県では、「クマ出没警報」及び「ツキノワグマ人身被害防止強化期間」（10/23～11/30）を12/31まで継続・延長しております。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

「クマ出没警報」及び「ツキノワグマ人身被害防止強化期間」の継続・延長について

県では、現在、県内全域を対象に、11月30日(日)までクマ出没警報を発令し、併せて「ツキノワグマ人身被害防止期間」を設定しているところですが、依然、多くの目撃等情報が寄せられ、クマと遭遇しやすい状況が続いていることから、警報及び強化期間を12月31日(水)まで継続・延長します。

なお、11月1日から11月21日までに県へ寄せられたツキノワグマ目撃等情報は695件となっており、10月1か月の目撃等件数1,181件と比較して減少傾向が見られるものの、近年で目撃等件数が多かった令和5年11月の月間件数344件を大幅に超える状態です。

県内では、目撃等件数の急増に加え、9月以降、死亡事故も含めて人身被害が発生しており、人身被害のリスクが依然として高い状況にあることから、県民の皆様におかれましては、引き続き、なお一層の注意と警戒をお願いします。

県では、現在、「ツキノワグマ総合緊急対策」を取りまとめ、全庁あげて対策に取り組んでおります。引き続きクマ対策に取り組む市町村を支援するとともに、県民の皆様の安全確保に努めてまいります。

ツキノワグマ人身被害防止強化期間

- Point① 目撃等情報に注意！
- Point② 河川敷のヤブに注意！
- Point③ 入山時のリスクに注意！
- Point④ クマのエサとなるようなものの管理に注意！
- Point⑤ 基本的な遭遇防止対策の継続を！

ツキノワグマの生態や出没情報等については、県のホームページをご覧ください。

宮城県ツキノワグマ総合緊急対策

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sizenhogo/kumasougoukinnkyuutaisaku.html>



令和7年度クマ目撃等情報

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sizenhogo/r7kuma.html>



ツキノワグマの被害に遭わないために

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sizenhogo/kumatyuui.html>



【参考】目撃等件数と人身被害件数の推移

年 度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目撃等件数	504件	1,642件	880件	1,035件	883件	1,297件	680件	549件	1,357件	800件	2,878件
人身被害件数	1件 (1人)	6件 (6人)	3件 (3人)	1件 (1人)	6件 (6人)	1件 (1人)	2件 (2人)	5件 (7人)	3件 (3人)	0件 (0人)	5件 (5人)

(令和7年度の出没件数は、令和7年11月21日時点)